

災害対策本部事務局運営訓練の結果について

1 目的

図上訓練を通じて、原子力災害時における情報収集事態から住民の一時移転までの流れを対応することにより、職員の対応能力の向上を図るとともに、滋賀県原子力防災初動対応マニュアル、原子力災害に係る滋賀県広域避難実施要領に定められた手順の確認および検証を行う。

2 実施日時

- (1)令和 7 年 7 月 28 日（月） 13 時 30 分から 16 時 30 分まで
- (2)令和 7 年 10 月 20 日（月） 13 時 30 分から 16 時 30 分まで

3 訓練参加人数

- (1)防災危機管理局員 21 人
- (2)防災危機管理局員 29 人 JR西日本 2人 計 52 人

4 訓練想定

- (1)若狭湾沖を震源とした地震による美浜発電所 3 号機の事故により、放射性物質が放出され長浜市の一部で避難等の措置を要する基準まで空間放射線量率が上昇。
 - (2)若狭湾沖を震源とした大規模地震発生により滋賀県内で被害発生後、美浜発電所 3 号機の事故により、放射性物質が放出され長浜市の一部で避難等の措置を要する基準まで空間放射線量率が上昇。
- ※今回の想定では、訓練の便宜を図るため、事態進展の早い厳しい条件としている。

5 主な訓練内容

(1)災害対策（警戒）本部事務局運営訓練

実施日時：令和 7 年 7 月 28 日（月） 13 時 30 分から 16 時 30 分まで

実施場所：危機管理センター 3 階オペレーションルーム

内 容：防護措置（屋内退避準備、屋内退避指示等）実施方針の決定
国、原子力事業者（関西電力）からの情報収集および情報伝達

(2)災害対策本部事務局運営訓練

実施日時：令和7年10月20日（月） 13時30分から16時30分

実施場所：危機管理センター3階オペレーションルーム

内 容：地震に係る被害対応

防護措置（一時移転指示等）実施方針の決定

国、原子力事業者（関西電力）からの情報収集および情報伝達

鉄道事業者との連携（情報収集および情報伝達）



総務班（係）の活動



情報班（係）の活動



受援調整係の活動



統括係の活動



モニタリング本部の活動



会議

6 成果・課題

(1) 成果

- ・ 時間厳守での資料作成、係員のタスク管理ができた。
- ・ 情報の取捨選択ができた。
- ・ 積極的な情報収集、円滑な情報共有ができた。

(2) 課題

- ・ 会議までの時間管理が出来なかったため、様式、コメントを組み合わせる等による作業の省力化を目指す必要がある。
- ・ 会議資料作成の役割分担が不明確であったため、資料作成の様式に担当係を明記する必要がある。
- ・ 情報、データ入力の省力化、共有の方法を再考する必要がある。

7 今後の対応（暫定）

- (1) 訓練において明らかになった課題や改善点を基に、体制や手順などを検証。
- (2) 検証結果を今後の訓練や研修、各種マニュアルに反映し、実効性を高めていく。
- (3) J R 西日本（指定公共機関）との連携体制を継続して構築。